

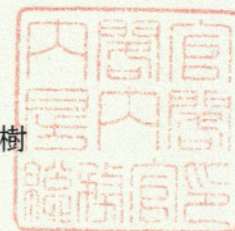
閣総第636号  
令和4年10月28日

## 行政文書不開示決定通知書

渡辺 周 様

内閣官房内閣総務官

松田 浩 樹



令和4年9月26日付け行政文書の開示請求（同月28日受付）について、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年法律第42号）第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり、開示しないことと決定しましたので通知します。

### 記

#### 1 開示請求書における「請求する行政文書の名称等」欄の記載

国の儀式として行う総理大臣経験者の国葬儀を閣議決定で行うことについて、令和4年7月12日～14日に内閣法制局とやりとりした内容を記録した文書一切。ただし、令和4年9月26日付け閣総第556号-3で開示された「国の儀式として行う総理大臣経験者の国葬儀を閣議決定で行うことについて」を除く。

#### 2 不開示とした理由

本件対象文書については、作成又は取得しておらず、若しくは廃棄しており、保有していないため（不存在）。

※ この決定に不服がある場合は、行政不服審査法（平成26年法律第68号）の規定により、この決定があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、内閣総理大臣に対して審査請求をすることができます（なお、決定があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内であっても、決定の日の翌日から起算して1年を経過した場合には審査請求をすることができなくなります。）。

また、この決定の取消しを求める訴訟を提起する場合は、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）の規定により、この決定があったことを知った日から6か月以内に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、東京地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、決定があったことを知った日から6か月以内であっても、決定の日から1年を経過した場合には処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

#### 3 担当課等

〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1

内閣官房内閣総務官室（調整担当） TEL:03-5253-2111 内線 85156